

～平瀬川河口から源流を経て新百合ヶ丘駅まで～

2020年6月6日(土) 天候:曇り 24000歩 約16km (風もなく蒸し暑かった)

隣組:中村ゆ 奥村 小島

■県内の非常事態宣言は解除となりましたが、まだ大勢でのウォーキングは憚れる状況が続いています。毎日歩いてはいるものの、やはり偶には10km以上歩かないと身体が緩んでしまいます。そこでこの日はクラブ指針を踏まえ、「三密」の心配がない少人数でのフリーウォーキングとして、多摩川に注ぐ一級河川「平瀬川」の二つの源流を目指し歩いてみました。

しかしウォーキングの楽しみの一つは大勢で歩くことに・・・早く皆さんと一緒に歩きたいものです。 <小島記>

KWC の会員構成を見ると、横浜一町田ラインから西側の居住者が多いようですが、県東部となる川崎市内も増えています。私の中では武蔵小杉駅から南側は“青松組”の縄張り、北側は新興勢力“中村組”の縄張りと考えますが、相対する二大勢力も、これまで平和共存を貫き抗争等は一切ありませんでした！(^_^)！今回は中村ゆ組長の“お姉様”もお目付役で参加、中村宅前を流れる平瀬川河口から新百合ヶ丘駅までを歩くことになり、不肖小島が“用心棒”としてお供しましたが、“足が棒”になってしまい、自分の身を守ることで精一杯の一日となってしまいました・・・オソマツ！ 以下はその顛末です。

★第一景：田園都市線二子新地駅～平瀬川河口（多摩川）～平瀬川本川源流まで。



各自マスク着用で除菌ティッシュ等も用意し万全の態勢で集合。まずは旧大山街道まで出て多摩川河口を目指します。



多摩川の土手下にある二子神社。西側は三業地でした。

多摩沿線道路越しに二子玉川駅方面を望む。

■二子三業地：大正14年7月多摩川に二子橋が架かり、2年後の昭和2年7月玉川電気鉄道が溝ノ口まで乗り入れ営業を開始した。東京側の岸边には料亭が立ち並び旦那衆を喜ばせたが、右岸側にも花街ができた。これが二子三業地＝二子新地の誕生で、川向こうの料亭「仙寅」も大正15年にこちらに来た。往時には待合50軒、芸者も100人ほどいたという。 (Web サイトから引用)



多摩川の河川敷。時々走る道です。



ここでウォーク準備とストレッチ。風もなく蒸し暑いので先が思いやられます



ここが多摩川に注ぐ平瀬川河口。この日は釣り人もなし。



左前方は台風19号の水害で死者が出たマンションです。



河口を確認し、いよいよ源流を目指しスタートです。



まずは久地円筒分水。2m開けて証拠の写真を撮る。



平瀬川七面山隧道。左が旧で右が新しい。川沿いには山が立ち塞がり直進出来ず。迂回して高台の住宅街へと上る。





反対側に下りる階段。山の南側は新興住宅地でした。



隧道の上流側。水路は中で分岐しています。



南武線で直進できず迂回した元に。



ここまで来ると風景も変わります。



石の上に佇むカモ。孤独な島流し？



川には蛇籠が敷き詰められています。



上作延公園で水分補給の小休止。



タチアオイが咲く遊歩道。



この辺りの川底は岩盤のようです。



コース確認時はお互い近づくことに。



川は交差点の下を通り向こう側へ。



道路脇で二人が見たものは・・・



ティートリー。まるで雪が積もったよう。



初めて出会った木です！



こんな花も咲いていましたが・・・何？



前方には東名高速が見えて来ました。



純和風な邸宅と火の見櫓の面。



川の瀬にあった基石？ 水流を弱めるためか。



川沿いは健康ウォークロードと命名されています。



“組長”宅。(青松組に狙われるのでぼかしました！)



近くの公園で休憩です。とにかく暑～い！！



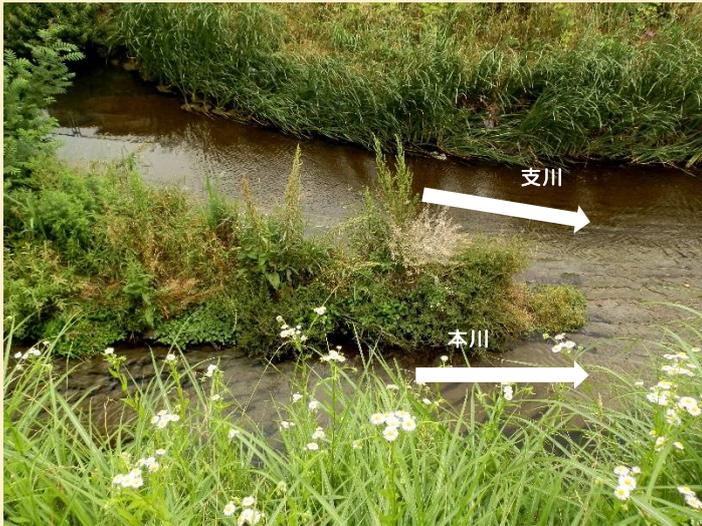
「三密」のない殺風景な公園。ボール遊びの親子がいただけ。



太鼓橋のような形の嶋田人道橋。何か謂れでも・・・



河口からここまで6.5km歩いてきたことになります。



草木が茂っていて全体像が分かりにくいですが、ここが平瀬川本川と支川との合流点。水量は支川の方が多い！



13:00近くなりここで遅めのランチタイム。



川沿いには色とりどりの花が咲き誇っています。



周りに星が輝いているようなガクアジサイ。



こちらはまるで明太子のような花。君の名は？

★第二景：平瀬川本川源流～支川源流～小田急線新百合ヶ丘駅まで。



先は暗渠なので、ここを平瀬川本川の源流としました。



水源は水沢の森辺りの湧水かと思われます。



尻手黒川道路に出て北上。



風が無く暑さが応えます。



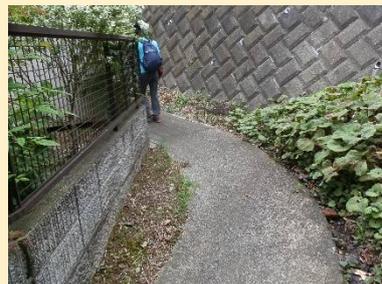
田園調布学園大の前を通過。



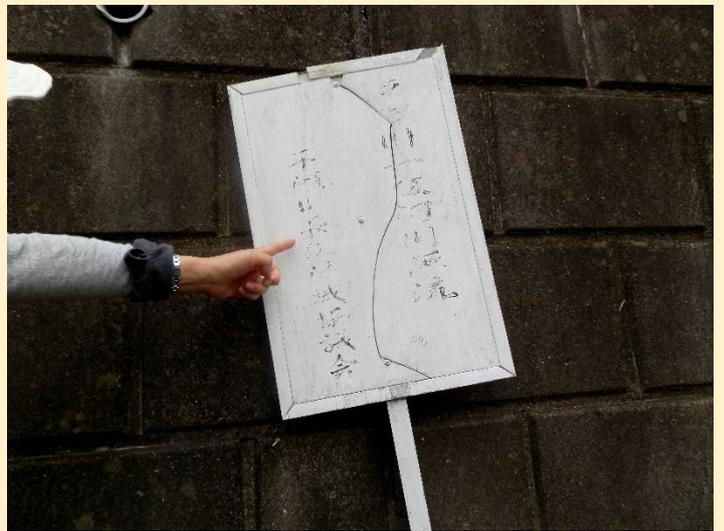
餅坂第4公園。この崖下に地図にない平瀬川支川の源流があると読み、三人のカンをフル回転し探索へ。



新興住宅街に怪しげな暗渠発見！これはもしや・・・奥村探検隊が探索へ。



隊長は一人でどンドン歩いて行きますが・・・大丈夫か？



ついに平瀬川支川の源流に到達！この先は長沢中学の下。新興住宅地の奥まった場所ですが、訪れる人もなさそうです。

擦れて読みにくいですが、平瀬川一級河川源流と書かれ、左には平瀬川長沢流域協議会とありました。

★「三人よれば文殊の知恵」と言われますが、今回支川の源流に到達できたのは、三人の知力・眼力・カン(←これ重要)が揃ったまさに“三密”の成果でした！(自慢?) 支川の源流発見で思わずハイタッチ&ハグをしたい気分でしたが・・・それは当然ながら×！！



すぐそばに流れ込み発見。ここも？



帰りは足取りも軽く・・・



この農園内にも暗渠が続いていた。



源流も確認できたのでここで休憩。



本日最後の上り坂です。



東屋で水分補給。風が涼しい！



緑地を出ると急に視界が広がります。この辺りはまだ開発途上なのででしょうか更地が目立ちました



王禅寺見晴らし公園から見た風景。天気良ければ遠くに南アルプス等の山々も見渡せる眺望絶佳の穴場です。



晴天時の公園。この日の天気が恨めしい・・・ここは夜景の名所、カップルの聖地かも。（写真はWebサイトから借用）



さあラストスパート。下り坂は楽ですね。



弘法松公園には立ち寄りず・・・



最後の万福寺松山公園へ。



ここまで離れなくても・・・◎です！



新百合ヶ丘駅前。結構人が多かった。

★この日は距離が長かったものの、散歩ペースで風景を楽しみながらゆっくり時間をかけて歩いたので、ゴールは4時近くになりました。今回歩いて実感したことですが、暑さの中で長い距離をマスクをつけたまま歩くのは、かなり体力を消耗し逆に危険ですね。こまめに休憩し水分補給をすれば、その際にマスクも外すので熱中症回避にはなりますが、ウォーク途中でも人通りが少なく風通しの良い場所では、見た目上は賛否が有ろうかと思いますが、呼吸が楽のように鼻の部分だけマスクをずらして歩くのも一つの方法かと思いました。前方から大勢が歩いて来るようなら元に戻せばよいので如何かと・・・ END